

# せいろう 議会だより

VOL.126

3月議会

平成31年  
4月26日発行

新潟県聖籠町議会

お世話になりました  
(蓮野こども園修了式)

行財政改革元年の予算案を可決

2～5ページ

お聞きしました！「まちのこと」

12～13ページ

町政を問う 10人が一般質問

14～24ページ

見て聞いて話し合った 委員会レポート

26～27ページ

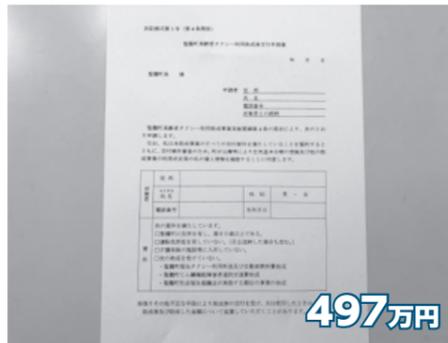


# 行財政改革元年の

# 予算案を可決

## 予算審議

### 高齢者タクシー利用料扶助費



497万円

高齢者にありがたい事業

### 小・中学校防犯設備設置工事



210万円

子どもたちの安全確保に

### 東山団地施設整備工事



958万円

これから快適なウォシュレットに

平成31年度  
予算

## 注目事業 ピックアップ

平成31年度の  
注目事業を紹介します

### 学校給食費補助金



715万円

第3子以降 給食費が無料

### 小学校無線LAN増強工事



2344万円

大切な防災設備になります

## 一般会計66億9200万円 (前年度比1.9%減)

### 一般会計予算

新執行部が推進してきた行財政改革のさなかの、初めての当初予算となります。一つ一つの行政サービス、事業を根本的に見直し、積み上げた今回の予算編成には、執行部の並々ならぬ決意が感じられました。

歳入では、昨年度と比較すると、町税が41億7578万円、1億815万円減少しています。これは、東港企業の設備などの減価償却により、固定資産税が1億1172万円減収したことが大きな要因の1つです。歳出では、行財政改革により捻出した財源を基に、未来を見据えた3つの投資を実現するとして、子育て支援と福祉に

### 平成31年度一般会計・特別会計予算

会計名	平成31年度	平成30年度	前年度対比	採決結果	
一般会計	66億9200万円	68億2434万円	△1.9%	可決：全員賛成	
特別会計	国民健康保険 事業勘定	11億8014万円	13億27万円	△9.2%	可決：全員賛成
	国民健康保険 施設勘定	1億685万円	9826万円	8.7%	可決：全員賛成
	介護保険	13億3244万円	12億7585万円	4.4%	可決：全員賛成
	後期高齢者医療	8987万円	8603万円	4.5%	可決：全員賛成
	県営開拓パイロット事業	990万円	990万円	0%	可決：全員賛成
事業会計	下水道事業 収益的支出	7億733万円	7億552万円	0.3%	可決：全員賛成
	下水道事業 資本的支出	4億5246万円	4億2928万円	5.4%	可決：全員賛成
	水道事業 収益的支出	2億9308万円	2億8689万円	2.2%	可決：全員賛成
水道事業 資本的支出	3914万円	2億3150万円	△83.1%	可決：全員賛成	
合計	109億321万円	112億4784万円	△3.1%		

平成31年3月12日から15日の4日間に行われ、平成31年度一般会計予算、特別会計予算、事業会計予算の7会計を、議長を除く議員13人で審議を行いました。初日から3日間、各予算を細部にわたり担当課長の

説明を求め、例年どおり活発な質疑応答が繰り広げられました。4日目は、午前には町長への総括質問、午後から採決を行いました。7会計予算とも、全員賛成で可決しました。

### 予算審査特別委員会



予算審査特別委員会の主な質疑

# 質疑あれこれ

## ガンバレふるさと納税

**問** ふるさと納税返礼品発送等業務委託料は昨年度と同額だが、ポータルサイト使用料が増えているのはなぜか。

**答** 今までは「ふるさとチョイス」1つであったが、もう1社に委託することとする。

**問** その詳細は。もう1社は「楽天」で、手数料は9%となる。他のサイトと比較して高くはない。窓口の拡大が大切と考えている。

**問** この予算案からは、ふるさと納税1億円を目指すという意気込みが感じられない。

**答** 返礼品の種類も幅を広げなければならぬ。来年度は目標を4千万円としているが、1億円を目指して、臨んでいく。

**問** 地域産業の活性化とふるさと納税はリンクしている。トップセールスで汗をかくてPRしてほしい。

**答** PRの方法を考え、



▲味は一番 聖籠産

町全体として熱意を醸成していきたい。

**問** 目標が増えているのに委託料が同じなのはなぜか。

**答** 東港企業の加工品を500件ほど頼んでいる。町から企業に直接払っている。

**問** 適材を配置してがんばってもらいたい。

**答** もう少し強い営業が要る。全力を挙げて臨む。他の自治体の例から見ても、農産物だけで1億円達成は聖籠町でも可能と思うが。

**答** 色々な方法で全力を尽くす。

## ハルトンとの国際交流

**問** 費用対効果から見ると、意味がなくなってきた事業の感否めない。廃止した方が良いのではないか。

**答** この事業自体意義がある。平成32年度予算の中で全体的な検証の項目の1つと考える。

**問** 交流のメニューが同じというのが問題ではないのか。

**答** 中国の方からも、来年度の交流の在り方について相談したいという話もある。

**問** 来年度は何人来訪するの。

**答** 金額は前回と同じだが、24人である。

**問** 国際交流の観点から、子どもたちが文化を学ぶ一定の意義はある。参加児童や受け入れる家庭から、事業終了時に調査を行い、内容を検討し、今後も交流事業として広がるよう努力してもらいたい。

**答** 現在は、作文などではなく報告されていない。子どもや保護者の意見を聞くなどして参考としたい。



▲貴重な異文化体験

## 夏まつりとマリンフェスタ

**問** 今まで2日かけていた夏まつりとマリンフェスタを1日で同時開催するということか。

**答** 海のにぎわい館とその周辺で1日で開催する。駐車場も使うので駐車



▲町の財産 砂浜海岸

スペースの確保や、出店する店の調整など、担当課でさらなる打ち合わせが必要だ。

花火は打ち上げる予定である。

## 診療所の電子カルテ

**問** 診療所の先生の経営方針は。

**答** 経営の合理化、収支の改善など積極的に取り組むをしていただいている。夜間診療や内視鏡検査、デイサービスやグループホームなど十分に対応していただいている。また、先生は、介護との連携や在宅診療なども必要だと考えている。

**問** 電子カルテ導入費用の補助率と利便性はどうか。

**答** 費用は全額補助金がある。

出る。しかし、ランニングコストは発生する。メリットとしては、紙スペースが空く、検査結果がすぐ分かる、レセプトの事務処理がなくなる。また、電子カルテになると、職員が減ると想定もしている。

**問** 医師住宅はどういう管理になるのか。

**答** 来年度から総務課の管理となる。修繕が必要なら対応もする。使い道がどうなるのかは未定である。



▲健康管理は先生にお任せ

## 循環バスとタクシー券

**問** 循環バスの予算は昨年と同じだが、今後はどうする。

**答** 利用者のアンケートなどを参考に、どういものが一番利用しやすいか、協議して方向性を見つけ出していきたい。

**問** いつまでに結論が出るのか。

**答** 9月末は今まですおり。10月1日から、変えられる部分はあるが、難しい面もある。平成31年度で検討して、結論が出せれば良いと思う。

**問** タクシー券支給は80歳以上、全員か。

**答** 80歳以上で、免許証を持っている人、施設等に入所している人などを除く全員である。

**問** 対象者は何人か。

**答** 推計になるが、400人ほどと考えている。利用率75%と考えている。

**問** 遺漏のないよう周知を願う。

**答** 早めにお知らせする。4月の区長会議でもお話しする。



▲利用しよう循環バス

# 3月定例会

手数料、使用料等調査審議委員会条例の制定、都市公園条例の一部改正、平成31年度7会計予算など22議案を全て可決。  
平成31年3月5日～18日（会期14日間）

## 例定 条制

### 利用者の負担の 適正化を考える

#### 手数料、使用料等調査審議委員会条例

聖籠町が徴収する手数料、使用料その他税外収入について、消費税増税などの社会情勢を踏まえ、受益者負担金の適正化に際し、学識経験者、施設利用者、一般町民等から広く意見を求めるために委員会を設置します。委員は12人以内。委員の任期は、答申をもって終了です。

#### 主な質疑

#### 委員には新しい人を

中村恵美子議員 今回の委員会は、4月に設置し、12月には答申をもらうことを目指す。少ない時間の中で、審議するのだが、また同じような顔ぶれが選出されるようでは今までと同じような状況で、一般町民からの公募も考えている。そして、公共施設利用団体の代表者等も委員になってもらい、意見を聞きながら、審議を進めてもらう。

#### 心ある行政を

小川益一郎議員 東港開発によって、聖籠町の今

るようでは今までと同じである。過去には、一般町民からの公募だといっても、同じ顔ぶれであった。今までは違う新しい人を選ぶべきと考える。

#### できるだけ広く意見を求めたい

町長 一般町民からできるだけ広く意見を求めたい。学識経験者は別として、一般町民には、今までは違う新しい人に委員になってもらいたい。

#### 税金の値上げありきではない

町長 10月の消費税増税等を見据えて、職員が考えるのではなく、委員の人たちの意見を聞くことで、町の手数料や使用料等を考えたい。委員会の中で、最初から料金の値上げありきではないことを理解してもらいたい。

料金の値上げありきではない

他の自治体と比較して、手数料や使用料等が安いのは、東港開発で豊かな町としての町民サービスの1つである。他の自治体と同様にという考え方は困る。委員会では、町の歴史的背景を委員に説明して、心ある行政を考えてもらいたい。

## 条例改正

### 臨海西公園の廃止

#### 主な質疑

危険な遊具は、早急に撤去すべき

#### 危険な遊具は、早急に撤去すべき

宮沢光子議員 新潟県の港湾計画から臨海西公園を、はずしてもらわないと、遊具やトイレ（管理棟）等を撤去できないということである。しかし、簡易なロープ張りや立て札で、公園の



▲時代の流れで廃止（臨海西公園）

## 県と協議をする

使用禁止を表示するだけでは、広大な土地なので、人の出入りは止められないのではないかと。危険な遊具は、早急に撤去すべきと思う。公園の使用禁止後、緑地扱いになるのだが、残されている遊具等の点検をどう考えているか。

#### ふるさと整備課長

4月1日以降、臨海西公園の使用禁止と立ち入り禁止を周知徹底したい。遊具やトイレ等の撤去について、県と協議をする。立ち入り禁止後の緑地管理、監視は、通常の町内パトロールの中で行う。

残されている遊具についての点検も目視ではあるが、定期的に行う。

討論 なし  
採決 全員賛成で可決

## 例定 条制 議員発議

### 町議会の今後の 在り方を定める

#### 議会基本条例

長年、議会の中で議論を重ねてきた「議会基本条例」を、全議員賛成のもと、3月議会の本会議で制定しました。

条例の前文では、町議会として、町長等と緊張関係を保持しながら、町の最高意思決定機関であることを認識し、町民の福祉向上と町の活性化促進のため活動すること等を記載しています。

第1章から第9章まで、組織の基本理念や方針、機能強化策等とともに、議員個々の活動原則等についても、本条例で定め、より一層の積極的な議会活動の展開を目指します。



## 聖籠町選挙管理委員 および同補充員決まる

3月18日の本会議において、平成31年5月29日をもって任期満了になる聖籠町選挙管理委員および同補充員の選挙が行われました。

#### 選挙管理委員

- 長谷川進一さん（聖中ヶ丘）
- 布施 敏勝さん（二本松）
- 宮澤 厚子さん（網代浜）
- 松木 洋三さん（山諏訪山）

#### 選挙管理委員補充員

- 小林 友子さん（正庵）
- 高松 幹雄さん（亀塚）
- 高橋 修吉さん（山諏訪山）
- 宮村 喜雄さん（山倉）

任期満了に伴う、新たな聖籠町選挙管理委員および同補充員の選挙は、指名推薦により議長が指名し、全員賛成で当選が決定しました。

## 選挙管理委員会



委員 布施 敏勝さん



委員 長谷川 進一さん



委員 松木 洋三さん



委員 宮澤 厚子さん

# 農業委員10人決まる

平成31年3月31日をもって任期満了になる農業委員会委員10人の同意を求められました。同意の採決については、無記名投票の動議が出されました。委員1人ずつを、議長を除く13人の議員で投票を行い、10人（再任6人新任4人）全員を同意しました。



新保 勇さん (杉谷内)  
賛成13 反対0



神田 勝さん (丸湯)  
賛成13 反対0



新保 要一さん (山三賀)  
賛成8 反対5



宮下 吉勝さん (次第浜)  
賛成13 反対0



新保 昇英さん (山三賀)  
賛成10 反対3



栗原 一成さん (本諏訪山)  
賛成11 反対2



加藤 百合子さん (蓮野)  
賛成7 反対6



曾根 善治さん (蓮湯)  
賛成13 反対0



八幡 裕さん (大夫興野)  
賛成13 反対0



駒澤 一男さん (本大夫)  
賛成10 反対3

# 教育委員に 深井一成さん(再任)



深井 一成さん (次第浜)

教育委員会委員の深井一成さんが平成31年3月31日をもって任期満了になることから、引き続き同意を求められ、無記名投票によって全員賛成で同意しました。

# 自治功労者に対し 全国町村議会議長会より表彰



五十嵐利栄 議員 (かしと)  
宮沢光子 議員 (みやざわ)

議会議員として多年にわたり、町の地方自治振興ならびに議会機能向上に貢献され功績のあった議員として、全国町村議会議長会から、五十嵐利栄議員、宮沢光子議員が表彰されました。

## ふるさと納税

### ポータルサイト2つに

## 80歳以上高齢者に

### タクシー券支給

## 「聖籠町子育て応援パスポート事業」開始



西脇 町長

▼ふるさと納税の増額を目指し、インターネットポータルサイトを2つに増やします。

▼農業者はもちろん加工品業者やサービス提供者に協力を求めて返礼品の種類を増やします。

▼クルーズ客船は、新年度東港に3回の寄港予定です。さらなるクルーズ客船誘致と寄港定着に向け、PR活動を展開します。

▼生ごみ堆肥化事業を今年度で廃止します。

▼不燃ごみ回収も現在の週1回から月1回に回収頻度を縮小します。

▼子ども医療費助成を新年度から対象年齢を満18歳まで拡充します。

▼返納した方や免許証を所有していない方を対象に、1枚700円で24枚、年間16800円分のタクシー券を支給します。

▼「聖籠夏まつり」と「聖籠マリンフェスタ」の同時開催に向けて、関係機関・団体と協議・調整を進めます。

▼新年度から小学5・6年生の英語科・年間70時間、3・4年生の外国語活動・年間35時間を1年前倒しをし、全面实施します。

▼4月から開始予定の「聖籠町子育て応援パスポート事業」は、中学3年生までの児童を養育している世帯に、名刺サイズのカードを交付。

▼あらかじめ事業に協賛し登録した店舗など事業所が、パスポートを提示した方に対し、事業所独自で設定した商品の割引や特典の付与などのサービスを提供するものです。

# 読者の声

## 蓮野の地に住んで



江刺家 翠さん (蓮野)

結婚を機に祖父の家へ越してきて6年が経ちました。我が家の前には弁天瀧風致公園がたち、春は鳥、夏はウシガエル、秋は虫、冬は白鳥の声しか夜は聴こえてこない、静かで長閑で自然豊かな環境にあります。

子どもにも3人恵まれ、忙しいですが日々穏やかに暮らせています。これもひとえに聖籠の地に住まわせてもらっているからだと感じています。

子どもが3人だとひっきりなしに病院等へかかりますので、「子ども医療費助成制度」には助けられています。また、きれいで親切な聖籠図書館へもよく通い、読み聞かせや季節の催し物に参加させてもらっています。保育付きで町で開催されますさまざまな教室にも行かせてもらいました。

**子ども教育課長** 亀代小学校の特別支援学級対象児童数は、次年度も同人数を見込んでいます。特別支援学級は障害の種類ごとに置かれる少人数の学

**次年度も同人数を見込んでいます**

**中村恵美子議員** 亀代小学校特別支援教室に間仕切り設置を行うとある。亀代小学校の特別支援学級対象児童は何人増える予定か。

**次年度の対象児童は何人か**

**町長** 町としては引き続き継続したいと考えています。新潟交通観光バスとも協議し、継続できるように要請していきたい。

**継続できるように要請したい**

**五十嵐利栄議員** 次第浜―新発田路線は今後も継続していくのか。

**路線バスは今後も継続か**



▲継続を望む路線バス

**宮沢光子議員** 70歳以上の方を対象に敬老会や聖海荘等についてのアンケートを実施したが、集計結果は周知すべきと思う。広報を活用してはどうか。

**アンケート結果を広報で伝えてはどうか**

級である。区分とクラスの人数の関係で教室数が不足するため、間仕切り設置工事を行う予定である。

**内部で検討したい**

**保健福祉課長** アンケート結果は集計後、広報等を通じてお知らせしたいと考えています。また、敬老会の内容等についても内部で検討を行い、合わせて広報等で町民への周知を図りたい。

**「ざぶ〜ん館への運営助成実施」**

**一般会計補正予算**

**主な歳入**

■社会資本整備総合交付金	2045万円
■農地集積協力金	1529万円
■町道整備事業債	660万円

**主な歳出**

■源泉井機能不全等に伴う運営助成金	3400万円
■農地集積協力金	1729万円
■消雪パイプ設備工事	3180万円

平成30年度一般会計補正予算は既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2105万円を減額し、総額70億166万円と定める予算を全員賛成で可決しました。  
主な質疑は歳出の、児童手当扶助費、ふるさと納税返礼品発送等業務委託料などについて行われました。

**主な質疑**

**委託料減の理由は**

**青木順議員** ふるさと納税返礼品発送等業務委託料が減額となっている。減額の理由は。また、現時点でふるさと納税の寄附額はいくらか。

**取り扱い減が主な理由**

**総務課長** 地場物産館の春先におけるサクランボ取り扱い件数減が主な理由である。2月末時点のふるさと納税寄附額は約2830万円である。

**事業の見直し必要では**

**中村恵美子議員** ハルビ

**パート職員等を含め対応**

**子ども教育課長** 放課後児童クラブの運営基準は1施設2人であり基準は満たしている。本町では1施設4人の対応で実施していたが、職員減の施設ではパート職員等で対応している。

**児童手当人数は**

**中村恵美子議員** 児童手当扶助費の支給人数は。また、一人当たりの金額はいくらか。

**金額は区分で異なる**

**子ども教育課長** 延べ人数は24664人である。一人当たりの金額は区分によって異なる。

**みなさんの  
請願・陳情**

第1回定例会では、地域住民より直接の声となります請願3件、陳情1件を審査し、請願2件、陳情1件は全員賛成で採択としました。請願1件は賛成少数で、不採択としました。

**採択した請願・陳情**

- ◎国民健康保険料(税)の国庫負担割合の引き上げ及び子どもの均等割軽減を求める請願書  
〔提出者〕 新発田民主商工会 聖籠支部長 中村登  
討論 なし  
採決 全員賛成で採択
- ◎寺島・網代浜線通学道路歩道整備に関する請願書  
〔提出者〕 山倉区長 浅野博  
討論 なし  
採決 全員賛成で採択

**不採択とした請願**

- ◎消費税率10%増税の中止または延期を国に求める請願書  
〔提出者〕 新発田民主商工会 聖籠支部長 中村登  
討論 あり  
賛成3 反対10

**意見書を国に提出**

第1回定例会で1件の意見書が提出され、可決しました。可決した意見書は、国の関係機関に提出し、実現するよう要請します。  
◎国民健康保険料(税)の国庫負担割合の引き上げ及び子どもの均等割軽減を求める意見書

## 東港の発展に期待



3年 菅原 拓馬さん

**質問1** 私は、聖籠町はとても住みやすい町だと思います。

まず、この町は町民が住みやすいようにさまざまなことを行っています。また、町の人が優しいこと、町の祭りが活発で、中学生も楽しく参加できることも良い点だと思います。

**質問2** 私は、東港を紹介したいと思います。東港は、日本の中でも大きな港で、これからもどんどん発展していくと思います。

**質問3** まずはこの町の雰囲気を保ってほしいです。今後は、見かけたら町の情報も読んでみようと思います。

## 安心に暮らせる町



3年 佐藤 快星さん

**質問1** とても住みやすい町だと思います。

小さい頃から交通安全教室や、地域の方々の見守りがあり、誰もが安心して暮らすことのできる町だと思います。

**質問2** 私は、子どもからお年寄りの方まで、多くの人が体を動かしたりできる施設がたくさんあるというところを紹介したいと思います。

聖籠町には、いくつもの公園や、町民会館内のスポーツ施設などがあります。誰もが気軽にスポーツを楽しむことができるというところは、聖籠町の自慢の1つだと思います。

**質問3** 私は、子どもからお年寄りの人みんなに優しい聖籠町になっていくことを期待しています。

現在、聖籠町の子ども園が無料というのほどもいいと思います。お年寄りの方々への支援も広げ、町の人全員に優しい町になってほしいです。

**質問4** 少しだけなら読んでいただくことがあります。「議会だより」には、聖籠町のこれからのために、いろいろな人の考えがあったので、もっとじっくり読みたいと思います。

### 質問項目

- 質問1** 聖籠町を住みやすい町だと思いますか？
- 質問2** 聖籠町外から友達が訪ねてきたとき、聖籠町のどんなところ（どんなもの）を自慢（紹介）しますか？
- 質問3** 10年後の聖籠町へ期待したいことは？
- 質問4** 「議会だより」を読んだ（見た）ことはありますか？

# お聞きしました！ 「まちのこと」

このシリーズも4回目になりました。今回も、聖籠中学校の平成31年度の新生徒会役員に「まちのこと」をお聞きしました。毎回、中学生からの新鮮な視点で回答をもらっています。

平成31年度の新生徒会役員4人は、1月に新潟市の朱鷺メッセで行われた「新潟開港150周年記念式典」に参加し、聖籠町の新潟東港のこれまでとこれからについて、600人の参加者の前で堂々と発表してくれました。

## 弁天潟の魅力



3年 水戸部 明香さん

**質問1** とても住みやすい町だと思います。地域での行事や8月の聖籠夏まつりなどたくさんあるので、地域の人と交流できるのも、楽しく住みやすい町だと思います。

**質問2** まずはサクランボやブドウなどの果物を紹介しようと思います。種類が多くて、どれもおいしいのでぜひ食べてもらいたいです。どのブドウもおいしいですが、シャインマスカットをお薦めしたいです。

次に弁天潟を紹介しようと思います。春になると弁天潟さくらまつりがあり、ステージでのパフォーマンスも楽しんでいます。

**質問3** 東港をもっといろいろな人に使ってもらいたいと思います。今は工場ばかりですが、観光の船などを呼んで、もっと聖籠のことをたくさんの人に知ってもらいたいです。

**質問4** 見たことがありません。聖籠に関わる大切なことが載っているの、見てみようと思います。

## 緑や海を大切に



3年 諏訪 愛理さん

**質問1** とても住みやすい町だと思います。交通アクセスも良く、緑も多く、地域の方が優しく声を掛けてくれるので住みやすい町だと感じています。

**質問2** サクラノボをはじめとして果物の生産が多く、自然豊かなところを自慢したいです。

**質問3** 今ある姿を残しつつ、どんな発展させていけるような町になってほしいと思います。今ある姿は地域の方のつながりや緑が多いところなど良いところを残して、いつまでも残してほしいです。



おがわ かつなり 勝也議員

# 教育現場での現状は

## 教育長 全ての事案に丁寧に対応

**問** 各小学校で放送設備の老朽化、カーテン等の不備があった。今後の対応は。

**教育長** 放送設備は新年度予算案で山倉小学校、来年度から順次更新する予定。カーテン等については今後利用状況と照らし合わせて、学校側と協議しながら撤去、入れ替えを検討する。

**問** 各学校の防犯対策、下校見守りの課題は。

**教育長** 「いかのおすし」の合い言葉のもと、不審者対応の避難訓練などを通して自分の命は自分で守る意識と行動力を高める。また、学区の安全マップや子ども110番の家

の更新を行い、家庭へ情報提供している。

**問** 児童、生徒でいじめアンケート等での問題事例は発生しているか。その対応状況は。

**教育長** 平成30年度における認知件数は、3小学校で102件、中学校で44件。全ての事案について

**問** 町内公共施設で耐震工事の終わっていない建物はあるか。

**町長** 終わっていない建物は、結いハート聖籠の一部、藤寄地区公民館、旧研修会館、亀塚児童館、高齢者生きがい交流センターがある。

**問** 災害避難施設のトイレは、停電時使用できるか。

**町長** 対応できるトイレは、指定避難所24カ所中、16カ所（3こども園、亀塚児童館、3多目的

て事実確認を行うとともに、丁寧に丁寧に対応している。

**問** 最低制限価格と同額の落札工事はあるか。

**町長** 平成25年から平成29年度の5カ年はなかったが、平成30年度で道路舗装工事が2件同額であった。

**問** 一般競争入札の対象工事の予定価格が3千万円以上は、他市町村より大きくないか。

**町長** 一般競争入札制度



▲今後どうなる公共施設の耐震対策

## 優先順位を見極め対応

### どう考える災害対策

## 町工事入札の現状は

### 落札率は留意する状態ではない

**問** 町の工事落札率は他市町村と比べ、どうか。

**町長** 昨年度の本町の平均落札率は91・3%、県内市町村の平均以下である。



## 一般質問

# 町政を問う

- 3月議会では、10議員から町政を問う一般質問がありました。
- 一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、町長等に疑問点をたずねるものです。
- 次ページからは、それぞれの一般質問について要約を掲載しています。
- 全文は会議録として、5月末に町ホームページに掲載される予定です。

## 10議員が質問

- |   |  |  |   |   |
|---|--|--|---|---|
| <p><b>長谷川 六男</b> 議員 P19</p> <p>1 蓮濁金清水線道路の早期完成を町民に理解得られるか行財政改革大綱</p> <p>2</p> | <p><b>宮沢 さやか</b> 議員 P18</p> <p>1 受診医療機関の拡大を</p> <p>2 非認知能力育成の重要課題は</p> <p>3</p>                  | <p><b>五十嵐 利栄</b> 議員 P17</p> <p>1 非正規職員の賃金アップを町民からの問い合わせは</p> <p>2 職員研修の充実を</p> <p>3</p>  | <p><b>宮沢 光子</b> 議員 P16</p> <p>1 連携する子育て応援カードの利点は</p> <p>2 どう考える今後の幼児教育</p> <p>3</p>               | <p><b>小川 勝也</b> 議員 P15</p> <p>1 教育現場での現状は</p> <p>2 どう考える災害対策</p> <p>3 町工事入札の現状は</p>       |
| <p><b>小川 益一郎</b> 議員 P24</p> <p>1 西脇町政のスタートはいつから町長選挙の投票は記号式か記名式か</p> <p>2</p>  | <p><b>青木 順</b> 議員 P23</p> <p>1 議員定数削減の考えは</p> <p>2 本町でも児童虐待はあったか改善できないか保育の基準</p> <p>3 その他の質問</p> | <p><b>田中 智之</b> 議員 P22</p> <p>1 スクールバスを導入し児童の安全確保を</p> <p>2 新年度予算が見据える町の未来は</p> <p>3</p> | <p><b>渡辺 豊</b> 議員 P21</p> <p>1 職員等の給料の値上げは見送るべきでは</p> <p>2 現状維持かまちなか防災訓練町の将来を握る政策は何か</p> <p>3</p> | <p><b>中村 恵美子</b> 議員 P20</p> <p>1 どうなる循環バス事業</p> <p>2 どう考える誤った増税の根拠</p> <p>3 国保税は上がるのか</p> |



いからし 五十嵐 町長

**問** 正規職員と非正規職員の賃金格差が大きいので格差を縮める必要があると国も提言している。町の非常勤職員の賃金格差は国が提言している以上に大きい。また、新潟県の最低賃金は年22円から25円アップし、10月1日に改正されている。4月に決定する非常勤職員の賃金を、10月に改正される最低賃金に満たない低い賃金設定を見直すべきでないか。

**町長** 県の最低賃金は現在803円で、昨年10月にこれを下回る職種の賃金を805円とした。また、一般事務職などの賃金も810円から835円に引き上げた。抜本的な賃金体系については、会計年度任用職員制度へ移行する平成32年4月に向けて検討する。

**問** 4月から労働基準法が改正され、年10日以上付与される有給休暇の、5日以上取得が義務化される。町職員の実態と対応策は。

**町長** 有給休暇年5日未満取得の職員は平成30年実績で15人であった。公務員は地方公務員法第58条で一部適用除外となっている。しかし、働き方改革の趣旨に基づき全職員が5日以上取得するよう推奨していく。



▲職員のレベルアップに期待

**問** 職員のレベルアップには職員研修が欠かせないと考える。職員研修には年間どの程度投資しているか。一人当たり研修費を他市町などと比べ、どう見ているか。

**町長** 研修負担金として年130万円強を計上している。他にも専門業務研修も実施している。一人当たりの研修費は7千円くらいだが、今後研修の充実を図っていく。

**町長** 今後も充実を図っていく

### 職員研修の充実を

## 非正規職員の賃金アップを

### 町長 平成32年4月抜本改正を予定

## 町民からの問い合わせは

町長 現時点ではない

**問** 厚生労働省による勤労統計不正により、雇用保険などが大きな社会問題となっている。全国での対象人数は2千万人近く、金額も564億円に達すると報道されている。

**問** 厚労省の出先機関（ハローワーク）に対して町の対応は。

**町長** 現時点で町民からの問い合わせもない。厚労省の出先機関に特段の対応はしていない。

**問** 追加支給の時期および町民の支給対象人数は把握しているか。

**町長** 厚労省のホームページによると追加支給は保険の種類により、3月から11月頃開始される予定である。

## 連携する子育て応援カードの利点は

### 町長 広い新潟都市圏の方が効果的

**問** 平成28年10月に締結した新発田市との定住自立圏形成協定では、「定住自立圏共生ビジョン」を新発田市が策定している。協定締結後、連携事業はどの程度、行われているのか。

**町長** 平成30年では、町は18の事業で連携している。町単独では成果が得られない福祉事業等は成功例であるが、公共交通等の連携は、互いの組織内の見直しに伴うので難しい。しかし、今後も連携できる事業の可能性を考えていきたい。

**問** 町は、新潟市を中心に7市3町1村が事業の連携を模索する「新潟広域都市圏形成に係る連携協約書」も締結している。平成31年4月から、

**町長** 広域連携という切り口で、子育て部分は、定住圏という狭い範囲より新潟都市圏という広い範囲で考えるほうが効果的という議論であった。

**問** 新発田市にも、子育て応援カード事業はある。聖籠町にとって、生活圏である新発田市ではなく新潟市と子育て応援事業を連携した理由は何か。

**町長** 子育て応援カード事業は、子育て支援カード事業は、生活圏である新発田市ではなく新潟市と子育て応援事業を連携した理由は何か。



みやざわ みつこ 議員



▲大いに利用しよう子育て応援パスポート

## どう考える 今後の幼児教育

### 教育長 英語を幼児教育に取り入れる

**問** 子どもたちへの危機管理教育は、登下校のみならず、生活する上で大事な時代になった。町内の学校における危機管理教育をどう捉えているか。

**教育長** 学校において、不審者対応の避難訓練や県の防災教育プログラム等を学ぶことを通して、登下校時だけでなく、日常の生活の中における危機管理指導につなげるよう学校に依頼している。

**問** 国策である幼保無償化に伴う交付税は、不交付団体である聖籠町には入らないが、財政の面で短絡的にこども園を民営化すべきではない。

**教育長** 今後、目に見える形で、町の幼児教育の身をどうするのか。

**問** 子どもたちへの危機管理教育は、登下校のみならず、生活する上で大事な時代になった。町内の学校における危機管理教育をどう捉えているか。

**教育長** 学校において、不審者対応の避難訓練や県の防災教育プログラム等を学ぶことを通して、登下校時だけでなく、日常の生活の中における危機管理指導につなげるよう学校に依頼している。

**問** 国策である幼保無償化に伴う交付税は、不交付団体である聖籠町には入らないが、財政の面で短絡的にこども園を民営化すべきではない。

**教育長** 今後、目に見える形で、町の幼児教育の身をどうするのか。



はせがわ せがわ 六男 町長

蓮瀉金清水線道路は、平成12年度に県道交差点の右折レーンをつくるための工事が終了してから、現在まで実に約18年の歳月が経過し、未着工のままだった。この道路は、新潟東港工業団地につながる極めて大切な位置付けの道路といっても過言ではない。

期待する声も大きかったと理解している。この道路が完成することにより、新潟東港の会社に通勤する人のマイカー利用が増えると思われる。今まで蓮瀉新田集落前の道路を利用して通勤者も、かなり減ると思われる。



▲長かった18年間（蓮瀉金清水線）

### 町長 起債等も考慮しながら工事を進める

## 蓮瀉金清水線道路の早期完成を

期待し、完成を待ち望んでいる。残り約800メートルの未着工部分の道路を、今後、どのような計画で進めていくのか。

了し、工事を進められることとなった。概算工事費は約2億円を超えるものと試算している。今の町の財政状況からすると、単独での整備は難しい。

新潟東港の拠点性の確保と企業の産業振興において、不可欠の連絡道路とも言えるのではないだろうか。

未買収だった土地の所有者から理解いただき、用地の買収契約が完了する。

全線完了までには5年ないし6年程度を予定しているが、財政状況によつては延びる場合も想定される。

町民説明会に集まった人数をどう思ったか。

## 町民に理解得られるか行財政改革大綱

### 町長 さまざまな方法で理解を得たい

町民説明会に集まった人数をどう思ったか。

「情報公開の徹底と町民の皆様との意見交換の場を積極的に展開する」とあるが各集落に出向く考えはあるか。

重要だと認識している。基幹道路であるので起債等も考慮しながら計画どおり工事を進めていきたい。

行財政改革に関心を持った結果と考える。広報せいろ号外に改革の推進のポイントが記載された。

## 受診医療機関の拡大を

### 町長 利便性向上につながる方法を検討



みやざわ さやか 議員

がん検診は早期発見・早期治療以外に、予防医療の観点からリスク検診も重要。県内8市でピロリ菌検査を導入している。本町の進捗状況は、



▲心身ともに健康なまちづくり

健診受診率が目標に達していない。課題は何か。受診率向上に向け新たな試みを行う考えは、

効果的で受診者の利便性向上につながる方法を検討していく。

新たな子育て施策として、園の学区制から選択制への転換、モンテッソーリ教育等の教育法導入を検討している。

4月30日から5月2日の3日間、預かり保育を実施。保育園でも同様の対応。児童クラブでは対応について検討中。

## 非認知能力育成の重要課題は 教諭の能力伸長が課題

預かり保育利用が6割と高い中、幼児教育と保育を両立する上で子ども園における課題は何か。

幼児教育面では職員の資質、能力の向上や体制整備が必要。研修時間確保やバランスの良い年齢構成の調整が課題。

保育面では預かり保育職員の適正配置や、財政面での保育室整備が課題。

非認知能力の育成に当たり、重要課題は、

入を検討してはどうか。



わたなべ 渡辺 町長

**問** 当町職員の全般的に優れている点と、不足している点をどう考えているか。

**町長** 優れている点は、何事にも誠意を持って着実に取り組むところ。不足している点は、複数業務を兼務するが故の、専門性や企画力の不足など。

**問** 経常収支比率と町職員の総数をどう考えるか。

**町長** いろいろな状況から、職員数の削減に主眼を置いたこれまでの定数

管理は難しい。総人件費を抑制し、活力ある組織の構築、維持に取り組んでいく。

**問** 行財政改革のさなかに、職員等の給料を上げる条例を議会に提案したのは、なぜか。

**町長** 人事院の勧告については、町は過去、国の基準に基づいて同様の対応をしてきた。引き下げの時期もあり、そのときは同じく引き下げしてきた。町の給料体系にも影響

## 職員等の給料の値上げは見送るべきでは 町長 人事院勧告を順守する

してくるので、今後ともそうしていく。

## どうなる循環バス事業

### 町長 公共交通を持続するため検討



なかむら 恵美子 議員

**問** 循環バス事業は、最初の頃は空気がバスとも言われるほど乗車率が低かった。しかし、近年では高校生やお年寄りの方の利用も多くなってきている。デマンドタクシーなど何か対策をしてからでしか廃止はできないのではないか。

**町長** 循環バス事業見直しは、地域公共交通を廃止することではない。例えば朝の通勤、通学はバス輸送。高齢者の人などの日中利用はデマンドタクシーの導入検討。限られた財源の中で、地域の公共交通を持続可能にするため、見直しを行っていく。

**問** 冬季通学バスは、他の自治体の情報も取り寄せていくか。

せ、十分な検討が必要と考えるかどうか。

**町長** 冬季通学の見直しは、小・中学生の通学の在り方というテーマでの位置付け。他自治体の事例、学校、PTAとの協議を進め、教育委員会と十分な検討を進めたい。

**問** 長寿祝金は、制度をなくすべきではないと考えるかどうか。

**町長** 本事業も十分時間をかけて、福祉施策全体のバランスも踏まえ見直しを検討したい。



▲健康で長生きは人生の幸

しを検討したい。

**問** おむつ等給付事業について、事業縮小になつたとしても、低所得者層には支給をするべきでないか。

**町長** おむつ等給付事業は、所得があつて住民税が課税されるような人については、ある程度自己負担をお願いできないかという見直しを考えている。

## どう考える誤った増税の根拠

### 町長 原因究明と信頼回復に努めてほしい

**問** 統計調査の不正で、消費税増税の根拠は、足元から崩れている。誤った統計での消費税増税はおかしいのではないか。

**町長** 国には、事実の原因究明と信頼回復に努めるよう対応してもらいたい。

**問** 新潟労働局は、長年にわたり調査員による調査は行わず、郵送調査を行ってきた。

**町長** 本町の統計担当職員は、統計以外の業務も兼務しているか。

**町長** 本町は業務の兼務をしている。

## 国保税は上がるのか

### 町長 据え置きの方角で

**問** 昨年11月13日の新潟県国保運営協議会資料では、平成31年度の標準保険料(税)は上がる可能性があるか。

**町長** 本町はどのようなか。

**町長** 本町の保険料は、据え置きの方角で検討をしている。

**町長** 国と県、市町村での国保基盤強化協議会で制度の在り方全体について協議、要望を行っている。

**問** 国保にしかない均等割、平等割の制度をなくすことを、国に求めるべきか。

## 現状維持か まちなか防災訓練

### 町長 集落主体で新たな訓練も

**問** 東山団地は、津波の際の付近の集落の避難場所になっていない。しかし、建物内に入っていないのかさえ、はっきりしない。



▲各地域の初動体制を細やかに

町各地域の初動体制が打ち合わせされていない。これでは、防災、減災につながるが、災害弱者は救えない。災害という町は、基本的に自助と共助が、公助をもっと発揮して、安心して自助できるような訓練をしてほしい。

**町長** 障がいをお持ちの方々の援護は、区長にお願いして訓練ができるようにはしている。

上げて、生活環境課が所管となつて事務を執る。災害発生時の初動では、災害特別チームを編成して対応すべきと思う。

**町長** まちなか防災訓練は、現状で続けていくのか。

**町長** 集落主体で、区長に、新たな訓練もぜひ追加してもらいたいとお願している。

## 町の将来を握る政策は何か

### 町長 住んで良かったと思える施策

**問** 公約の実現には、もっとスピード感を持って事務処理してもらいたい。

**町長** 実務として対応できたのが9月以降であり、時間的に間に合わず、検討課題としたものもある。引き続きスピード感を持って進めていく。

**問** 希望の持てるまちづくり、ということ、町の将来を握る要因を1つ挙げるとしたら、何か。

**町長** 将来については3つの投資ということになる。当然、来年度予算では、子育て支援と福祉に重点を置いた編成となる。



あおき じゅん 青木 順 議員

今年選挙の年である。前回の町議会選挙は無投票であった。聖籠町でも昭和50年から現在において、議員定数を、町の人口が微増の中、26人から14人に減らしてきた。町の人口展望は、平成32年度までは微増予想だが、その後は減少するとある。

総務省のグラフを見ると、町村の議員定数の推移は平成10年度には4万559人いた議員数が、平成の大合併や社会情勢



▲難しい議員定数問題

町長 本町にある保育園に預けたいという町内の夫婦から不安な声を聞いた。各家庭によって基準はさまざまだが、安心して出産し、子育てし、暮らせるよう制度改善できないか。

### 町長 今後検証する 改善できないか 保育の基準

町長 本町の平成31年1月末の子ども家庭相談センターにおける実相談数は265件。そのうち児童虐待は28件だった。

町長 子どもの虐待について、つらいニュースを目にする。本町において児童虐待などはあったのか。どのような方法で児童虐待を調査し、どのような対処をしているか。

### 町長 残念だが 発生している 本町でも児童虐待はあったか

平成31年2月末現在、要保護児童管理台帳に児童虐待としての登録は22世帯、児童数は48人。今年度新規登録数は7世帯、児童数は13人で、一時保護世帯は2世帯、6人である。

町長 不安な声の内容については、町の判断に問題がなかったのか、十分検証する。

### その他の質問

クルーズ客船の受入体制と環境整備を早急に強化せよ。

## 町長 慎重に議論すべきと考える 議員定数削減の考えは

により、平成29年度では、1万998人に減少した。

無投票という結果は絶対にあつてはならない。適正な枠を多数の立候補者で競うことが議員の質やお互いを高め合うことにつながるかと考える。

町長 議員定数は議会の組織、構成の根幹となる重要な要素である。将来を見据え取り組む考え方は大切であり、全く同感である。定例会後、議会で議論するようなので、

## スクールバスを導入し 児童の安全確保を

### 教育長 交通・人的の両面から取り組む



たなか ともゆき 田中 智之 議員

今年度予算に、小・中学校敷地内への防犯カメラの設置が計上されている。しかし、学校生活で保護者が最も不安や心配を抱くのは登下校時の安全である。本町3小学校それぞれの学区はとも広く、小学校から最も遠い箇所までは約4キロメートルの距離がある。

町長 中学校の冬季バスの在り方や登校班を組むことが難しい小学校の登下校の在り方を、現在、全体像として見直しているところだ。

教育長 四ツ屋、蓮潟新田、本三賀、藤寄から小学校まで歩いてみた。個人的には通学時間が30分程度となる地点まで何らかの支援を行い、他の児童と歩いて通学できる環境をつくってあげたい。



▲安心・安全な登下校体制に

### 町長 活気ある地域社会の構築と持続 新年度予算が見据える 町の未来は

町長が就任し初めての予算編成だが、予算案の概要・ポイントが町の広報等で公表・説明されている。このような、町民

町長が就任し初めての予算編成だが、予算案の概要・ポイントが町の広報等で公表・説明されている。このような、町民

町長が就任し初めての予算編成だが、予算案の概要・ポイントが町の広報等で公表・説明されている。このような、町民

町長が就任し初めての予算編成だが、予算案の概要・ポイントが町の広報等で公表・説明されている。このような、町民

町長 子どもの福祉・未来への3つの投資が基本的な施策の柱。全ての町民が安心して暮らせる活力ある地域社会を構築し、持続させることが、将来ビジョンである。

# 第21回 追跡レポート その後どうなった 請願・陳情のゆくえ

平成24年から29年の間に議会で審議・採択された請願・陳情の中でも、特に町民から提出され、私たちの生活に深く関わるものの中から4件の請願・陳情について、その後の状況を調査しましたので皆さんに報告します。

## 陳情 生活道路の環境整備をしてください

陳情名 蓮瀧居浦山地区道路環境整備の陳情書  
提出者 蓮瀧区長 森田春雄  
議会採択年月日 平成24年12月13日

### 処理状況

平成30年度に2工区、聖中～八万刈側の240mの道路改良・舗装工事を完了しました。

### 今後の計画

平成31年度以降に3工区の工事を実施する予定です。



## 請願 通学道路に歩道を整備してください

請願名 苔沼地区通学道路整備に関する請願書  
提出者 苔沼区長 中村利雄 他3人  
議会採択年月日 平成26年6月23日

### 今後の計画

平成31年度に、1工区、聖中～苔沼の用地購入・物件補償、平成32年度以降に1工区の工事を実施する予定です。



## 請願 通学道路に歩道を整備してください

請願名 蓮野苔沼線の歩道付き道路拡幅整備に関する請願書  
提出者 別條区長 本間和人 他2人  
議会採択年月日 平成26年12月15日

### 処理状況

平成30年度に1工区、蓮野～八幡の110mの道路改良・舗装工事を完了しました。

### 今後の計画

平成31年度に2工区の用地測量・物件調査、平成32年度以降に2工区の用地購入・物件補償を実施する予定です。



## 陳情 道路の拡幅整備をしてください

陳情名 藤寄下通り地区町道拡幅整備に関する陳情書  
提出者 藤寄区長 遠藤博  
議会採択年月日 平成27年6月24日

### 処理状況

平成30年度に130mの用地測量・物件調査を完了しました。

### 今後の計画

平成31年度に用地購入・物件補償、平成32年度以降に工事を実施する予定です。



# 西脇町政のスタートはいつから

## 町長 少し検討時間を頂きたい



おがわ ますいちろう 議員 小川 益一郎

「変えるのは今」という大きな目標を掲げて、昨年の9月5日から聖籠町長に当選して約半年を経過した。24年間の渡邊町政から大きく脱皮し、新鮮な西脇町政に期待する人は、町内外に非常に多い。短期間のうちに全部改革することは難しいと思うが、平成31年度からは、西脇カラーを前面に出さなければならない。これから執行することは、全て西脇町長の責任である。今すぐできること、新年度からできること、次年度以降でできること、任期中にやることを識別し、また、町の総合計画や行財政改革の中で優先

順位と町民要望に答えなければならぬ。しかし、町民は新年度からは西脇町長が表明した事業、予算執行について大いに期待しているが、この事業、予算を動かす人、組織はどうする。人事と組織強化は「変えるのは今」のキャッチフレーズにしては遅い。新しい酒は新しい杯で飲むべきでないか。問 人事、組織改編するとなれば、課制条例の提案が必要である。いつまでに着手する。「変えるのは今」に町民は大いなる期待をしている。4月1日の人事体制などに期待する声は大きい。町長 基本的な現体制になつてから10年以上経過しており、全庁的、かつ、組織内部にも踏み込んで見直すことが必要と考え、いままじし時間をかけた方がよいという判断のもと、4月1日の改編は見送ることとした。

公職選挙法第46条の2において「地方公共団体の議会の議員又は長の選挙の投票については、条例で定めるところにより、記号投票を行うことができる」とされており、聖籠町においては、昭和45年に「記号式投票に関する条例」を制定して以来、町長選挙執行においては、記号式投票を行ってきた。問 町選挙管理委員会では、このたび、記号式投票について、今後も継続すべきか、または廃止と

# 町長選挙の投票は記号式か記名式か

## 町長 今後慎重に検討する

し、自書式投票にするか検討し、平成30年10月30日付の意見書で自書式投票とする方がよいと結論付け町長に提出した。町と選挙の考えは。町長 選挙人の権利とその行使の尊重が第一。今後慎重な検討が必要。選挙管理委員長 提出し

た意見書のとおり、なるべく速やかに条例の廃止、記号式投票の廃止を希望するものである。



▲どうなる次の町長選挙

# 議会基本条例制定

## 議会運営

聖籠町議会は平成29年12月議会で、平成31年3月議会までに、聖籠町議会基本条例を制定することを議会運営委員会で基本決定しました。

そしてこの決定を必ず実現させることを全議員で確認しながら、作業を進めてきました。

● 条例制定までの具体的な進め方と経過  
(1) 小委員会を設定し、各条項ごとの原案を作成し検討を重ねました。

(2) 小委員会と議会運営委員の合同会議で検討。  
(3) 全員協議会で検討。  
(4) 議会としての素案を専門講師に提示し、指導をいただきました。

(5) 指導をいただいた修正条例に基づき、さらに全員協議会で協議。  
(6) 条例全文と各章ごとの解説文も正式決定し、3月18日の議会最終日に議会発議で提案することを全議員賛成で決定しました。

(7) 3月18日、本会議で正式提案し、「聖籠町議会基本条例」を制定しました。

# 小・中学校の施設・設備の現状を視察

## 総務文教

1月24日、町内小・中学校の施設の現状を視察。各学校とも修繕が必要と思われる箇所が多くあり、中には早急に交換・修理が必要と思われる設備の故障や破損・劣化も見られた。  
3小学校に共通する問題としては、校内放送設備の劣化。教室や体育館の雨水の浸透や雨漏り。県の平均を下回っているトイレの洋式化率等があった。  
小・中学校共通では、



震災による建築基準法改正により、体育館の吊り天井は、補修工事が撤去が必要という課題があった。  
町が行財政改革に取り組んでいる中、これらを全て修繕することは予算的に難しい。しかし議会としては、優先順位を付けた上で校舎内外の危険箇所を修繕し、児童・生徒が安心して学校生活を送れる施設になるよう、町に要望していきたい。  
(文責 田中智之)

# 見て聞いて

# 委員会

の関係、そして議会自身がどのように変わるのか、何点かについて述べてみます。

(1) 情報の公開と共有  
議会本会議、各委員会(予算・決算審査特別委員会、各常任委員会、議会運営委員会ほか)および全員協議会など全てを原則公開とします。

そして審議の過程や結果も町民に公開します。  
(2) 町民参加及び町民との連携  
年1回以上町民との意見交換会を開催し、町民の意見を十分に町政に反映させます。

(3) 東港立地企業等との意見交換  
東港地区に働いている約9000人の85%は町外の人です。東港立地企業等の皆さんと年1回以上意見交換会を行い、専門的・政策的識見を議会の討議に反映させます。

(4) 態度公表  
今までは各案件の賛否について個人名を公表することなく、例えば「賛

# 話し合った

# レポート

# 行財政改革に取り組む

## 厚生産業



3月7日、厚生産業常任委員会を開催した。一般会計を含む8議案、2つの請願について調査した。  
8議案のうち、主なものについては、臨海西公園の廃止について、近隣の公園の整備状況や利用状況などから行財政改革の一環として、平成31年4月1日より立入禁止になり廃止される。それにより約430万円の経費削減になる。

請願の寺島・網代浜線の通学道路歩道整備に関しては、冬期間の通学において、特に危険が伴う。道幅が狭いことに伴い、隣接する県道も通学時間帯の交通量は特に多く、横断歩道の待機場所もないに等しい。  
町内唯一の一方通行でもある。たびたび事故も起きているため早期解消を望む。  
(文責 青木 順)

成11人反対2人で可決、などと個人名は公表しませんでした。  
今後は全ての案件について議員一人一人が賛成であったか、反対であったか等、態度を公表します。  
(5) 議員定数  
議員定数の妥当性について町民の意見を聴取するため、参考人制度、公聴会制度などを十分に活用していきます。

はありませんが、①人口、②財政力、③集落数、④行政区の面積、⑤町の将来展望、などを他町村議員数などと比較検討しながら定めていきます。  
以上、基本条例の概況を報告し、議会広報122号からの基本条例シリーズを終了させていただきます。  
(文責 五十嵐利栄)



# ほのぼのファミリー



あおき ひろし  
青木 弘志 さん  
(ひばりが丘)



## 家族に町に感謝

### Q ご家族の構成は

私たちが夫婦と娘が2人、息子が1人、愛犬が1匹です。笑いが絶えない家族だと思います。

### Q 聖籠町に住んで何年ですか

産まれてから、ずっと聖籠町に住んでいるので、今年で32年になります。

両親や兄たちも近くに住んでいるので、とても頼りになりますし、家族を近くに感じ、とても住みやすいです。

### Q 聖籠町の好きなところ

私は聖籠町に住んで長いですが、とても住みやすい町だと思います。野菜や果物、米がおいしいですし、町民



が住みやすい対策や、子どもたちにも安全・安心で、楽しい町だと思います。

これからも、たくさんの人に聖籠町のいいところを知ってもらいたいです。

### Q 今後の夢は

私には、子どもが3人います。できれば大人になっても、聖籠町に暮らして、家族と幸せに過ごしてもらいたいですね。

## お知らせ

~information~

★議会を傍聴にきませんか

次回の定例会は、**6月11日(火)** 開催です。

午前9時30分から開会します。お気軽に傍聴においでください。

また、本会議のようすを「エフエムしばた」で放送します。ラジオやインターネットで聞くことができます。ぜひお聞きください。

### ★表紙の写真★

「お世話になりました」

(蓮野こども園修了式)

3月22日(金) 一人一人、修了証書が手渡されました。

(撮影 渡辺 豊)

### 発行責任者

議長 田村富美男

### 広報広聴常任委員会

委員長 宮沢 光子

副委員長 小川 勝也

委員 中村恵美子

渡辺 豊

長谷川六男

宮沢さやか

3月議会は、西脇町政にとって初予算議会でした。行財政改革の取り組みにより、生ごみ堆肥化事業の廃止や環境美化事業を見直すことにより財源を捻出しました。そのことにより、新生児聴覚検査扶助費を新規事業で、子ども医療費が満18歳まで拡充、高齢者タクシー券等いわゆる弱者といわれる子どもやお年寄りの人たちに新しい事業。拡充の事業です。予算審査特別委員会では、毎年同じ議論になるかと思いがちですが、その年の議論するそれぞれの事業が、毎年違うことが、終わってみると「不思議」だと思っています。

議会広報の発行も、私たちの任期中では残すところあと1回となりました。町民の皆さんに「手に取って、読んでもらえるように」との思いで取り組んできました。この思いは、届いたでしょうか。

広報広聴常任委員会  
委員 中村恵美子

編集委員の  
つばき

発行 新潟県聖籠町議会  
編集 広報広聴常任委員会

〒957-0192 新潟県北蒲原郡聖籠町大字諏訪山1635-4 TEL (0254) 27-1967 FAX (0254) 27-6133

議会だよりは町のホームページでもご覧になれます

[聖籠町議会](#)

[検索](#)

せいろう議会だよりは、環境にやさしい植物油インキを使用しています。